

【別紙】令和3年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 全日制)

(A 4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	5名
事務局 (教職員)	名

学校自己評価					
領域	年度目標			年度評価 (令和4年1月31日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・川口市のリーディング校として国公立・難関大学進学を目指し、子供達が憧れる文武両道の進学校として市民の期待に応えることが求められている	「進学校としての基盤を確立する」 ①スポーツ科学コースと特進クラスの充実を図る ②政策アドバイザーを活用して学校運営の機能強化を図る	①特進クラス・スポーツ科学コースの魅力づくり ・土曜講習の充実 ・部活動の活性化 ・SSH申請と理数科教育の充実 ②政策アドバイザー会議の定例化	①スポーツ科学コースの開設と特進クラスの位置づけを確立したことにより学校の特色を明確化することができた ②定例化した政策アドバイザー会議を活用し学校運営の改善につなげた	A ・土曜講習については、生徒のニーズに応じた内容の充実と働き方改革の両面から、更に質を高めるよう改善していく必要がある
教育課程	・新教育課程を市教委・県教委と連携して作成し令和4年度実施に向けて各教科等で準備をする必要がある ・コロナ禍による臨時休校も視野に入れリモート学習等の精度を上げる準備が必要である	「国公立難関大進学に対応する教育課程を編成する」 ③国公立大合格50名以上を目指す ④部活動加入率90%以上	・国公立大進学に対応する教育課程を編成 ③1、2年次から目標を確認した計画的・系統的な進路指導を行う ④部活動と学習の両立、放課後自学習環境の整備	③進路指導部と各年次の連携により校内で統一した進路指導の体制が整い成果が出つつある ④放課後の自習環境について適切な管理ができ生徒の自学習を支援することができた	A ・新教育課程の確実な実施と新規に行われる観点別評価を生徒の学力向上に活かす工夫が必要である ・部活動加入率約85% ・幅広い教科・科目を学習することと部活動と学習の両立の大切さを生徒・保護者、教員に浸透させる
開かれた学校づくり	・新設校として認知度を高めるために、コロナ禍にあってスポーツ科学コースや附属中学校など学校教育活動の様子や生徒の顔が見える丁寧な情報発信が必要である	「学校を核とした地域づくりを進め、リーディング校としての役割を果たす」 ⑤コロナ感染防止策を講じた教育事業の開催 ⑥昨年度以上の志願倍率を目指す ⑦ホームページのリニューアル	⑤市教委事業の会場として協力 (5事業以上) ・高校の教育資源を活用した小中学生向けプログラムの実施 (体験型のプログラム3事業以上実施) ・中学校教職員対象の進路指導研修会の新設	⑤コロナ禍の影響で市教委事業は実施できなかったが、中学校教職員対象進路指導研修会等を新設できた ⑥12/15志願状況調査で昨年度を上回る志願者数を得た ⑦7月にホームページのリニューアルを完了した	A ・リーディング校として中学1、2年生や小学生に対しての進路啓発活動を行う ・中学校訪問等の機会を増やしニーズの把握に力を入れる ・ホームページを活用し生徒の様子が伝わる広報を一層充実させる
教職員の資質向上	・政策アドバイザーをはじめとする川口市独自の人材配置を研修に活用しきれていない ・最新鋭の施設・設備や立地条件の良さ等により、大学や研究機関から協力を受けやすい	「授業第一主義」 ⑧グループ研究を実施し成果を学校運営に反映させる ⑨政策アドバイザー、AL支援員等を活用してICTやALの研修を充実させる	⑧教職員グループ研修の奨励 (4グループ程度) ・校外研修、先進校視察 (延べ20名以上) ・未来を拓く学びプロジェクトに全教科が参加 ⑨政策アドバイザーを指導者とした研修を実施	⑧コロナ禍の影響もあり先進校視察や校外機関における研修が十分に行えなかった ⑨政策アドバイザーによる授業力向上に向けた指導・助言について回数は少なかったが実施できた	B ・広報研修部を中心に教職員研修全体の活性化を図ることはできたが、次年度はさらに組織的な研修体制を整備し授業力向上に向けた取り組みを強化する ・政策アドバイザーを指導者とした人材育成を充実させる
施設・設備等の管理	・自転車事故、不審者・防犯対策、本校独自の安全面への配慮が必要となる ・附属中との円滑な施設共有を進める必要がある ・ICTをはじめとする最新鋭の施設を教育活動に効果的に活用する必要がある	「最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮」 ⑩自転車事故防止をはじめ本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑪GIGAスクールとBYOD導入による新たなICT環境を構築する	⑩自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策 ⑩BYOD導入方針の決定とICTの有効活用に向けたネットワーク環境の整理と見直しを行う	⑩自転車による重大な事故はなかったものの引き続き交通安全対策を強化する ⑪GIGAスクールとBYOD導入により一人1端末の環境を整える準備ができた	B ・防災についてはPTA後援会の協力を得て生徒用の備蓄食料等を整備したが、今後は地元町会や市役所との連携により災害に強い安心・安全な学校づくりを進める必要がある ・附属中学校、定時制課程との施設共用に一層工夫する

学校関係者評価	
※実施日	令和4年2月25日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・特色が明確になり、川口市のリーディング校として充実している ・コロナ禍における分散登校や動画配信等、学びの継続的な提供に感謝する ・政策アドバイザー会議定例化による学校運営の強化は評価に値する ・中高6年間を見通した全体指導計画の早期作成を望む	
・校内での統一した指導体制の確立は生徒の進路実現に大変重要であり、成果が出つつあることは大変評価できる ・生徒が高い目標をもち進路を考えるために、幅広い学習は重要であり、その思いを生徒、保護者、教員が共有できるよう期待する。進路指導と幅広い学習は進路実現の両輪である ・多様な教育課程の編成を望む	
・HP等を最大限に活用して引き続き魅力ある学校の活動状況を伝えてほしい ・コロナ禍での研修会の新設は努力している ・目的に適した活動ができている ・高校生による小中学校への学習支援ボランティア活動を考えてはどうか	
・政策アドバイザーを指導者とした研修が効果を上げている ・研修や視察等を充実させ、生徒の学力向上、教員の指導力向上を図ってほしい ・中学校と高校の連携を意識した教職員グループの研修に期待する ・GIGAスクール構想に関する研修や最新の施設設備の活用に関する研修も深めてほしい	
・交通ルールを守る指導、自転車反射板等、交通事故防止策を講じてほしい ・施設工事が完了したので、管理運営体制を構築し、文武両道の進学校の実現を望む ・ICT環境の更なる充実と、適切な個人機器の使用で効果を上げる指導法の開発に期待する ・最新鋭の施設設備を維持できる予算を確保してほしい	